

独自技術磨き飛躍

有力企業トップインタビュー

NKE 中村道一社長

— 足元の市場動向は。
 「今年度前半は回復基調で推移したが、下期に入りやや鈍化傾向にある。特需解消によるマインドの低下や為替動向が影響しているようだ」

— 製品開発でのこだわりは。
 「開発者のアイデアと実際のニーズを肌で感じながらコンベヤーや移載ロボットなど各種マテハンユニット、部品の開発を進めてきた。ただモノづくりが多様化し、カタログのラインアップに複雑化の傾向が強くなった。そこで、あらためて顧客サイドに立った製品開発に取り組んでいる」

— 技術開発の強みは。
 「40年の歴史の中で築いてきた幅広い分野での汎用性と風通しの良い組織力。ユーザーの課題や不具合を即座に解決する提案力で信頼関係を深めている。また京都府内のセンサーメーカーなども連携。互いの技術やサービスを補完し合い新たな市場開拓を進めている」

顧客サイドで製品開発

— 人材育成では。
 「新たな事業を手がけるためにも全体の業容を見渡せるトップマネージャーの育成に力を入れている。若手の個性を引き出すとともに組織の連携強化も図っている」

— 今後の事業展開は。
 「メーカーとして良品質で低価格な製品開発は重要だが、それ以上に顧客にとって価値のある商品を創出していく。ハードだけでなく技術的な信頼やサービス面で、お得感を打ち出したい」

